



菊武学園フラッシュニュース

大学新記録を樹立し優勝 名産大ウエイト部の山本さん



(優勝杯と新記録認定証を手にする山本さん)

名古屋産業大学ウエイトリフティング部の山本真鼓さん(3年)は、3月7日に開かれた全日本学生選抜大会64キロ級に出場、ジ

ャークとトータルの2部門で大学新記録を樹立し、2位以下を大きく引き離して優勝しました。

昨夏の足のけがを不屈の精神で克服、昨秋から競技に復活しました。山本選手は「今後は五輪経験者とも戦う。挑戦者として試合に臨み、東京五輪を目指したい」と抱負を語っていました。

名産大ボウリング部の照山さん 10年ぶりの全国制覇を果たす



名古屋産業大学ボウリング部の照山莉央さん(3年) = 写真=が2月14日から京都府で開かれた全日本大学個人ボウリング選手権大会女子の部で優勝し、日本一に輝きました。

名古屋産業大学の選手としては、2009年の小泉奈津江

さん以来、10年ぶりの快挙です。照山さんは準決勝でアベレージ250の好成績を上げるなど、他の有力選手を引き離し、栄冠を勝ち取りました。

初の3日連続“慰問ツアー” 菊華高箏曲部員が熱い演奏



(ツクイ名古屋守山で演奏する箏曲部員)

菊華高校箏曲部は3月17日から、名古屋市内の介護福祉施設などで、

初の3日連続“慰問ツアー”を実施しました。琴や三味線で懐かしい曲を披露し、利用者や患者の方を慰め喜ばれました。

慰問したのは福祉施設「としわ会」、「ツクイ名古屋守山」と旭労災病院の3か所。箏曲部員とOB部員ら十数名が、愛知県大会で優秀賞を受賞した「じょんがらの街」をはじめ「花」「月の砂漠」「炭坑節」など十数曲を演奏しました。

菊武学園7学校・園で900名が巣立つ 実践教育と愛情教育を忘れずに高木理事長が祝辞



(名古屋ウエディング&フラワービューティ学院学生が答辞)



(大学、短大の卒業生が謝恩会で一緒に集い祝う)



(山岸校長が歌の一節を交え祝辞=菊華高)



(13名が大きく成長して卒園=稲葉保育園)



(思い出がいっぱいの卒園式=菊武幼稚園)

菊武学園の名古屋産業大学・大学院から菊武幼稚園、稲葉保育園まで7つの学校・園の卒業式が3月、厳粛な中にも華やかな雰囲気にも包まれ無事終了しました。

約900名の学生、生徒、園児らが、学び舎を元気に巣立っていきました。学生代表らは「ここで学んだことを忘れません」と感謝の言葉を述べていました。

高木弘恵理事長は「学園で学んだ実践教育と愛情教育を忘れずに、夢の実現に全力を尽くしてください」と、励ましの言葉と祝辞を贈りました



(学科代表に学位記授与=名古屋経営短大)



(大学、短大卒業生代表が答辞を述べる)



(菊武ビジネス専門学校の卒業式)

桜植樹と献花で冥福を祈る 大学・短大の東北ボランティア

名古屋経営短期大学・名古屋産業大学の学生17名による「東北ボランティア」は、2019年3月9日から3日間、宮城県南三陸町、気仙沼市を訪れ、海の見える森の植樹、追悼式典に参列して、災害への意識を新たにしました。

ボランティア隊は、地元NPOが進めている「海の見える森」で、桜の植樹などのボランティア活動に従事。気仙沼市の追悼式典では津波の遺族の声に耳を傾け、献花台に一人ひとり献花して冥福を祈りました。

いまま災害当時の爪痕が残る被災跡地を訪れ、被害の実態を心に刻みました。参加した学生らは「まず身近な家族らに災害に見舞われた時の心構えを伝えたい」と感想を述べていました。



(植林のため雑木林を整地する)



(海の見える森で、ボランティアを終え)